

IV 酸性雨モニタリング調査委託事業

1 目的

環境省の酸性雨長期モニタリング計画に基づき、日本の代表的な森林における土壌及び森林のベースラインデータの確立及び酸性雨による生態系への影響の早期把握を目的とする。

2 材料と方法

- 2.1 実施期間：平成22～26年度
- 2.2 担当者：宮本和則、有吉邦夫
- 2.3 場所：大山町庄司ヶ滝付近
- 2.4 方法

樹木衰退度調査

小・中・大の同心円プロットを設定した調査対象林分において、樹木衰退度調査を実施した。調査地の中心から東西南北に12m離れた地点に定点を設定し、定点周辺の上層木11本を選び、それぞれ樹勢、樹形、枝の成長量、梢端の枯損、枝葉の密度、落葉率を調べるとともに、葉について色、大きさ、変形の有無及び障害の有無を調査した。

3 結果

調査結果は表-1のようであり、コシアブラ、キハダ及びテツカエデに葉の障害が認められた。これは被圧による陰葉化と考えられ、酸性雨による影響では無いと判断された。

表-1 樹木衰退度調査結果

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	新規1	新規2
方位	E	E	E	W	W	S	S	S	N	N	N	S	N
樹種名	ハウチワカエデ	コシアブラ	ブナ	キハダ	テツカエデ	コミネカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ウワミズザクラ	アズキナシ	ウワミズザクラ
相対的樹高	±	±	+	±	±	2011年冠雪害により幹基部から4m長の裂傷 幹に多数の萌芽枝が発生	+	+	±	2011年冠雪害により倒伏枯死	2011年冠雪害により倒伏 幹に多数の萌芽枝が発生	-	±
樹高 (m)	10.0	9.4	22.5	14.0	12.8		26.4	14.3	14.6			10.4	13.4
胸高直径 (cm)	26.9	21.5	89.6	28.9	20.6		56.2	38.8	44.7			28.8	31.6
樹勢	0	1	0	1	1		0	1	0			1	0
樹形	0	1	0	1	1		1	1	0			1	1
枝の生長量	0	1	0	1	1		1	0	0			1	0
梢端の枯損	0	1	0	0	0		0	0	1			1	0
落葉率	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0
葉の変形度	0	0	0	1	0		0	0	0			1	0
葉の大きさ	0	1	1	0	0		1	1	0			1	0
変色率	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0			
葉の障害状況	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0			
ダメージクラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			